

民進党 「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし



荒川区議会議員

からの手紙

第 66 号

平成 30 年 4 月

3/15に荒川区議会2月会議は閉会し、新年度予算案を含む31件の議案が可決しました。運動場の活用、図書館本返却ポストの駅設置等について質疑しました。区議会議員3期目の任期も最後の1年になります。「荒川区に住んでいて良かった」と実感出来、「明日が楽しみな社会」となるよう今後も活動して参ります。

今日の数字？

2億8669万円

運動場・広場・公園等オープンスペースの活用促進へ —本会議— 駅への図書館本返却ポスト設置を求める —予算委員会—



質問 荒川区の面積は23区中22番目と狭く、限られたオープンスペースを有効活用することが重要である。現在運動場は、占有使用していない空き時間帯であっても、誰も利用出来ない制度になっている。

より多くの区民が、より多くの時間、オープンスペースを利用出来るよう、制度の見直しを図ることが必要ではないか？

答弁 一部の運動場開放を年内に試行実施していく。公園・広場についてもボール遊びなど一層の活用が図れるようルール作り等の検討を進めていく。

質問 ①区内駅の乗降客・定期券利用者も増えていること。

②本を借りた方の利便性が向上すること。

③早期返却により、予約待ち期間が短縮されること。

④貸出本の回転が速くなることにより、同じ本の複数冊購入（複本）を抑え、予算削減または幅広い図書の購入につながることを。

こういったことから、図書館本の返却ポストを駅に設置することを検討・進めるべきではないか？

答弁 駅にブックポストを置くことは利便性の向上になると考えている。ごみが捨てられるなどの課題等も勘案しながら、鉄道事業者と協議を進めていく。



清水啓史（42歳 昭和50（1975）年5/7日生 卯年 A型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員
平成19（2007）年 荒川区議選初出馬初当選。現在、荒川区議会議員3期目。

荒川区議会では総務企画委員会、観光・文化推進調査特別委員会に所属。
家族は妻と娘（9歳）。



〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com

3歳児眼科健診の充実について —予算委員会—

質問 3歳児眼科健診において屈折検査を導入し、弱視などの見逃しがないように精度を上げていくことが大事ではないか？

答弁 健診後のフォローアップ体制も含めて検討していく。

考え 目の発育成長は8歳頃には完成されます。そのため、弱視などの異常は就学前に発見・治療することが重要であり、区内保育園では4歳児眼科健診を平成26年度から開始しました。

3歳児眼科健診でも、一部自治体では写真撮影と同じように数秒で終わる検査機器（写真右）を導入しています。先日は、政令市のなかで最初に取り入れた静岡市を視察して参りました。



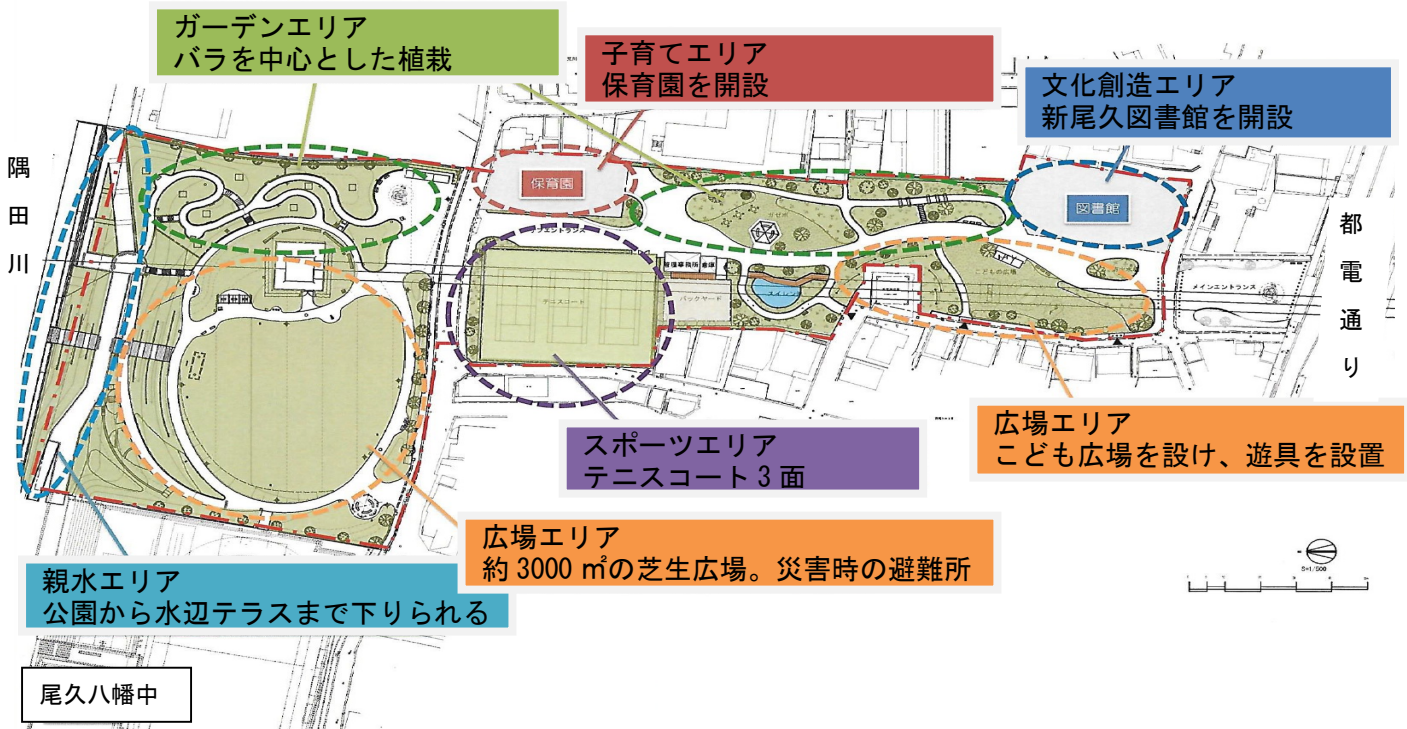
その他の質問事項

- 認知症の人もその家族も暮らしやすいまちについて
- 保育園の看護師配置について
- 保育園延長料金のコンビニ支払について
- マンションの今後懸念される問題点について

区政情報

宮前公園整備イメージ案が示されました。都電通りから隅田川まで南北に繋がる公園内に図書館や保育園が整備されます。保育園は小台橋保育園が移転し本年7月開園、新尾久図書館は平成32年度開館予定です。

宮前公園整備イメージ（案）



今日の数字？ 2億8669万円：ふるさと納税による荒川区区民税の歳入減額（平成29年度）。平成28年中に荒川区民が他自治体へふるさと納税し、税額控除を受けたことによるもの。前年よりも1億円以上増えている。都市部自治体ではこの影響による歳入減が問題になっている。なお、荒川区は新年度予算において、ふるさと納税による税額控除によって約5億円の区民税歳入減と算定している。